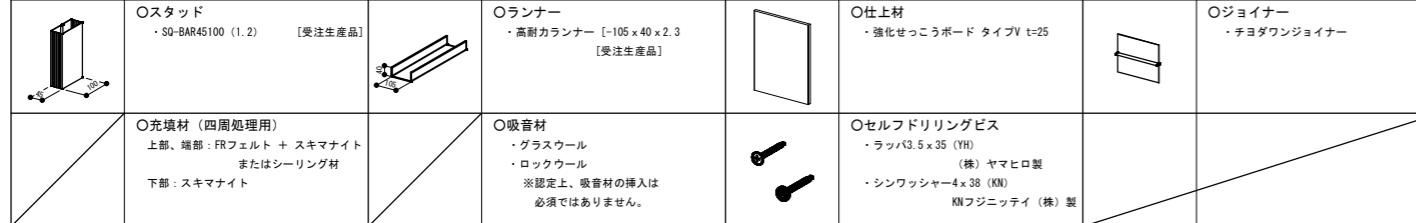
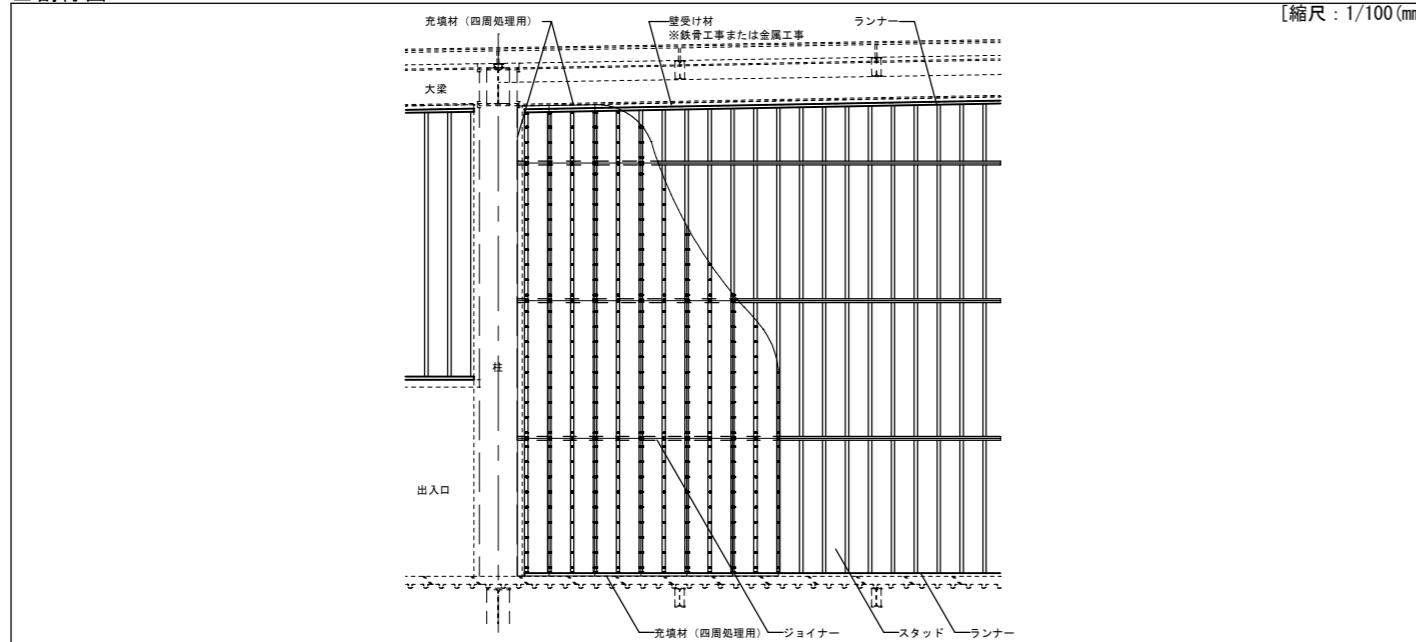


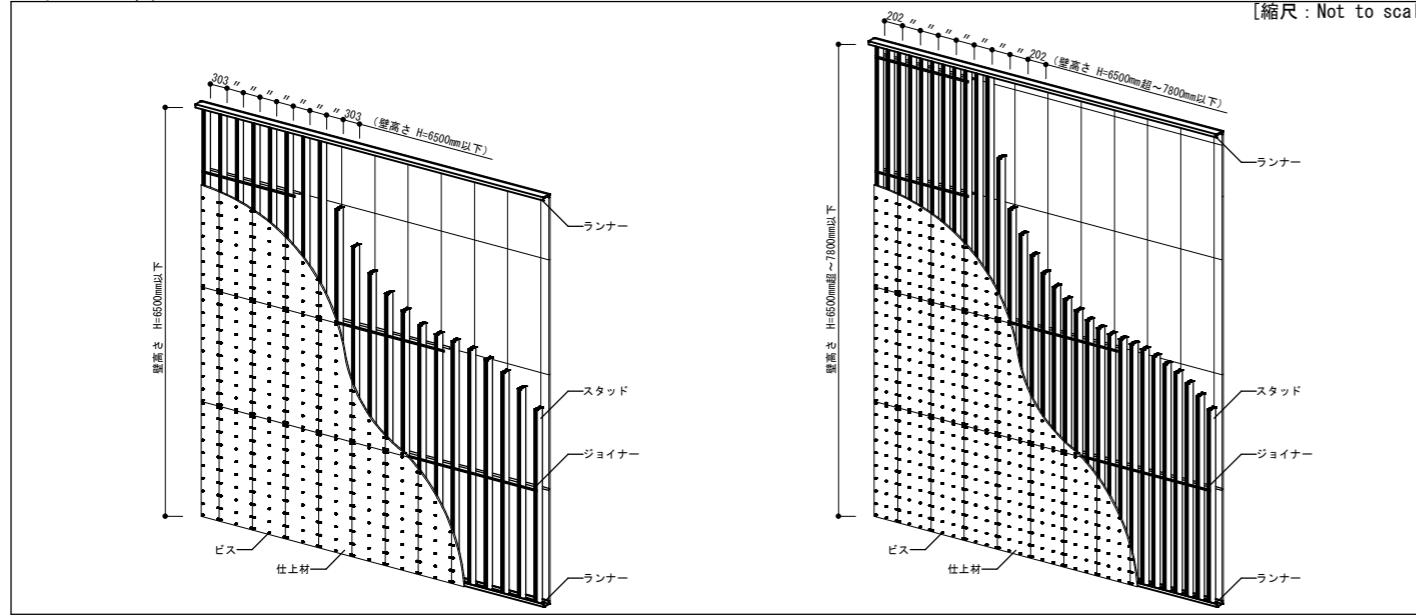
□部材一覧



□割付図



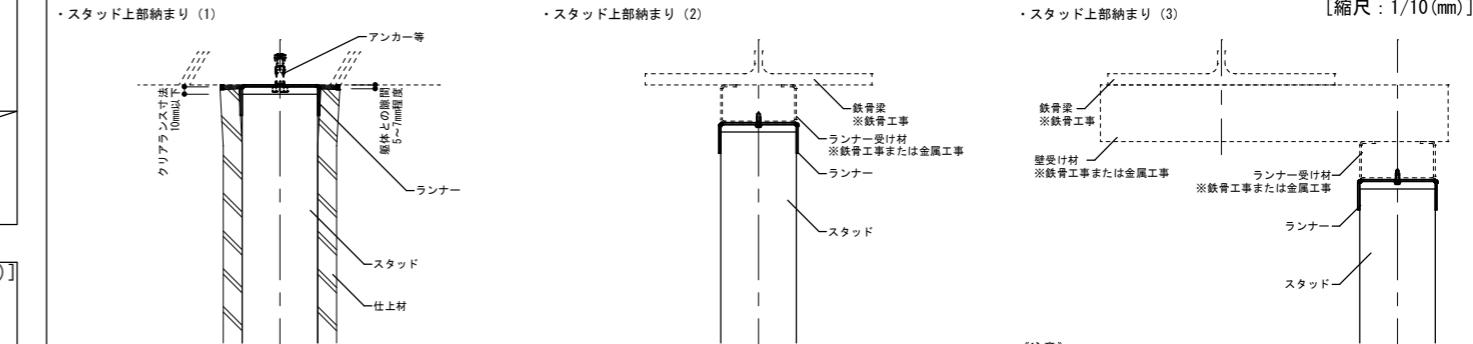
□イメージ図



□設計・施工上の留意点

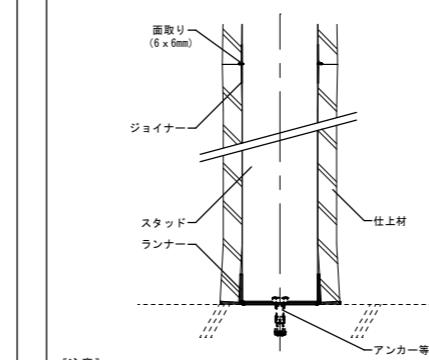
- ランナーを取付ける躯体部分は、十分な耐力及び剛性を有するものとしてください。
- ランナーの固定間隔は455mm以下とし、壁高さ6500mm以下は許容せん断耐力5550N以上、壁高さ6500mmを超える7800mm以下は6700N以上のアンカー等を使用してください。
- ただし、別途構造検討されたものについては、任意の固定方法とすることができます。
- 電気配線等のためにスタッドに貫通孔を開ける際は、孔の加工範囲を上下端部から1000mm以内に各1ヶ所ずつしてください。また貫通孔の形状は、直径36mm以下（へりあき30mm以上）としてください。
- 出入口およびこれに類する開口部は、その開口の左右および上下を補強してください。補強材の部材および取付け方法は別途強度計算などを実施して選定してください。
- 周囲処理の隙間処理で使用する充填材の使用量は、隙間の大きさや躯体の不陸の程度により異なります。
- 外壁側の壁、スラブ下に施工されている内断熱用現場発泡ウレタン等の樹脂類は、耐火遮音壁との取合部を必ず除去してください。
- 壁体内に止むを得ずコンセント・スイッチ配線等がある場合、あらかじめ処理方法を所轄消防署等と協議してください。又、配線は配管（コンジットパイプ・PF管）内に設置してください。
- 梁等の取合部で、水平区画部等が出来る場合は、あらかじめ処理方法を所轄消防署等と協議してください。
- 耐火認定にかかる注意・留意事項については、標準施工要領書を確認し、正確に施工してください。なお、本図面に記載の無い事項についても同様です。

□スタッド上下部納まり（例図）



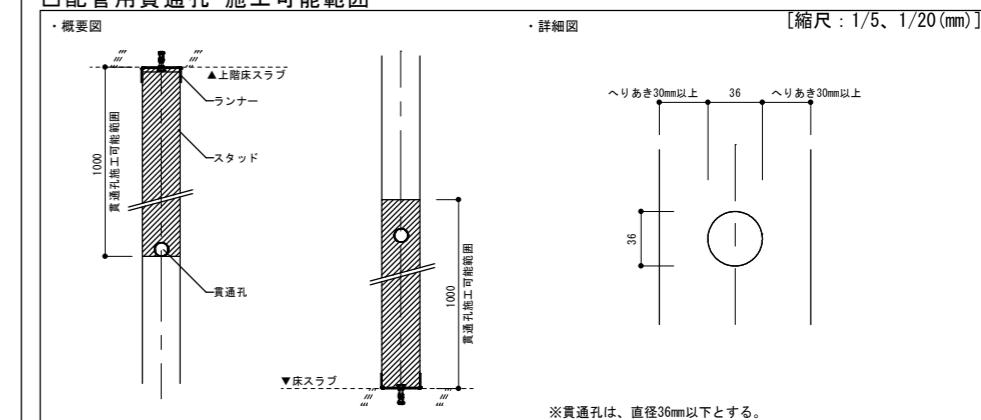
《注意》
ランナー受け材は、支持構造部として別途強度検討等を実施し、
工事管理者や監理者（設計者）の承認を得て、
ランナー施工に先立ち、設置位置について協議すること。

・スタッド下部納まり



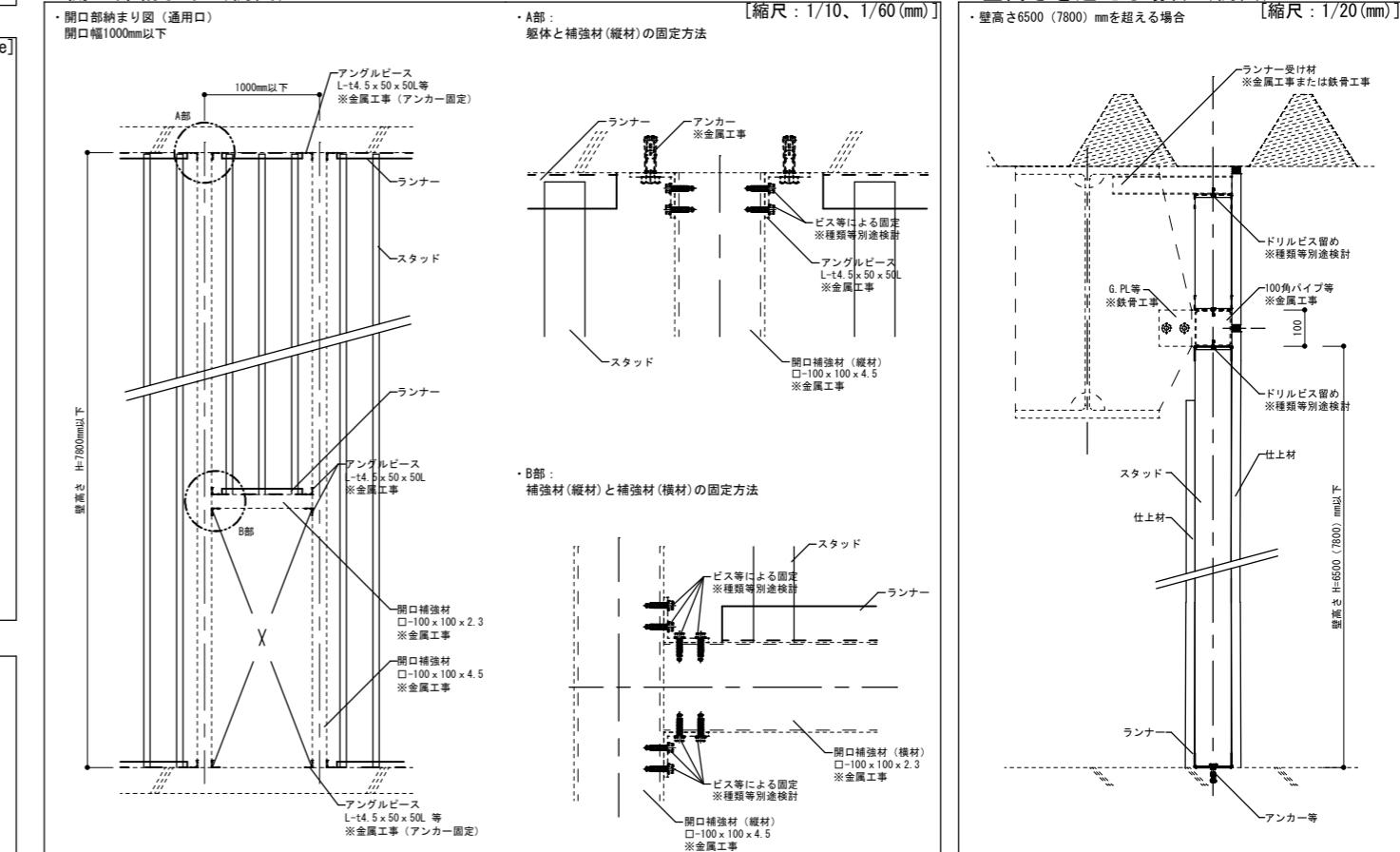
《注意》
内装ボードの施工にあたっては、設計図書を確認し、
選定された耐火等の工法や意匠性の要求などを考慮し、
取付け方法を選定すること。

□配管用貫通孔 施工可能範囲



※貫通孔は、直径36mm以下とする。

□開口部納まり（例図）



2019.10.1	新規作成

商品改良等の為、予告無く規格その他を変更することがありますのでご了承ください。